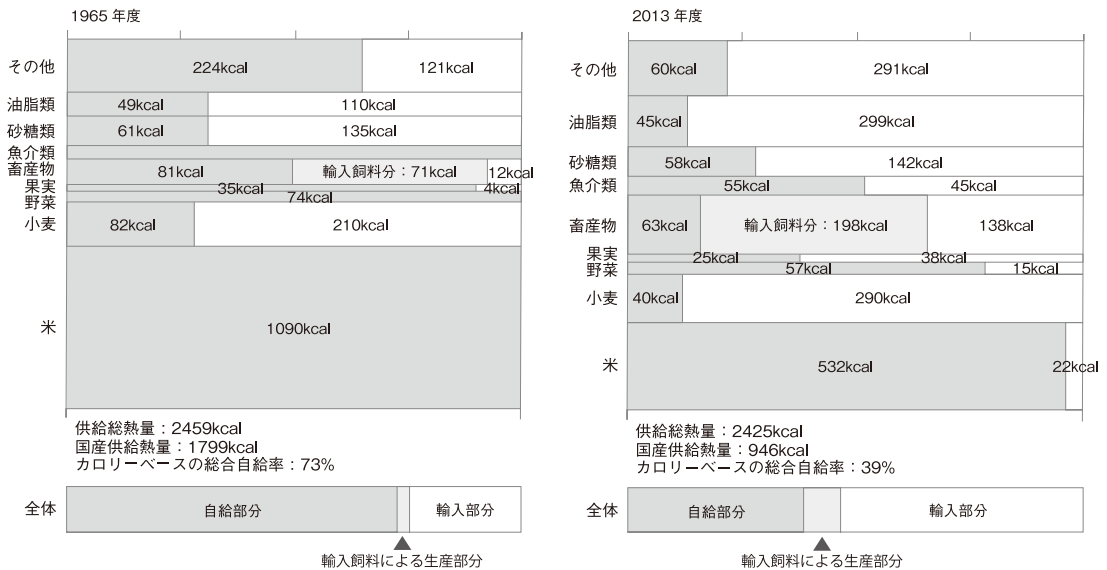


総合問題

問題

別紙のグラフは、農林水産省が公表した「食料需給表」をもとに、1965年度と2013年度のカロリーベースの食料自給率を比較したものです。縦軸は、総供給カロリーに占める品目ごとのカロリーシェアを、横軸は、それぞれの国産・輸入の割合を示しています。(供給熱量はいずれも1人1日あたりの数値を示します)。これら2つのグラフを比較して、日本における食糧消費の変化について、どのような指摘ができるか、原稿用紙に1,000字程度で述べなさい。

図 18.2.2 カロリーベースの自給率の内訳の変化



注 図中の数値は、公表数値を基に推計したものです。

図表出典 日本統計協会編『統計でみる日本2016』2016年1月

時間

120分

学習のポイント

与えられた資料(図表や図画など)を読み解く力、その読解にもとづき論理的に結論を導き出す力、結論を分かりやすく他者に伝えるための文章力が求められます。図表や図画は、ある事実に関する情報をわかりやすく伝えるための手段ですが、その図表や図画がどういった情報をどのような意図のもとで伝えようとしているのかを理解するためには、その図表や図画にそくした読み解き方が必要となります。試験対策としては、普段から教科書や新聞、雑誌などで図表や図画を目にしたときに、それが伝えている情報だけでなく、その情報を総合することによってどのような事実が明らかになるのかを自分の言葉で文章化し直してみる習慣を身につけましょう。